

全日本私塾教育ネットワーク

## 私塾ネット広報

第63号(平成30年7月号)

新盆に母のかげ見ん花糸瓜  
にいほん  
（直人）  
へちま



全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之  
〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内  
TEL:03-5743-7458 FAX:03-5743-7459  
Mail:center-office@shijyuku.net

理事長 仲野十和田  
TEL:03-3963-5572  
広報部長 大住 明敬  
TEL:048-957-8608

## 理事長コラム



“2－0” 今朝（7/3）4時半に目が覚め、テレビを見ると日本が勝っているではないですか！その後は言わずもがな…。

でも、日本の選手たち、良く頑張ったと思います。私は普段サッカーにはあまり興味はありませんが、以前、長谷部選手の著書『心を整える』を読んだことがあります、心身とも立派選手だと感じた記憶があります。昔は野球やサッカーをする連中は、結構“ワル”が多かったと思いますが、最近海外で活躍しているスポーツ選手を見ていると、人格的に素晴らしい若者が目立ちます。数年前、山形の県立高校で甲子園に出場した山形中央高校は、甲子園で1勝を挙げた時、負けたチームに配慮してガッツポーズをしないなど、何かとグラウンドでのマナーの良さが話題になりました。実は一昨年、この学校の朝練を見学する機会があったのですが、ボールは縫い目が揃うようにケースに入れられ、練習のスタートは論語の読み合せで始まります。監督は、「野球より、挨拶の方が難しい。」と言われていました。実は、このチームのメンタルトレーニングをしているのが、駒大苦小牧で田中マー君（現大リーガー）の指導もしていた遠藤友彦さんという方です。遠藤氏は以前私塾ネット10周年で講演をいただいた上甲晃氏が主宰する青年塾の出身者で、私も何度かお会いしたことがあります、野球より人として必要なことの学びに重点を置いて指導をされています。大舞台で活躍し続けるのに

理事長 仲野十和田（ナカジュク・東京都）

大切な要素なのかもしれません。

話は変わりますが、5月のエリア四国研修では近藤新代表を始め、四国の皆様には大変お世話になりました。いつもながらのおもてなしに、ただただ恐縮するばかりでした。内容は2020年の教育改革を取り上げ、教育開発の岡田博司氏から全体像のお話しがあり、その後英語の4技能を意識して作られた日本教材出版の教材を使った模擬授業を、柳田浩靖先生が行いました。実は、この授業を受けるまでは、受験で4技能が入っても塾でやることは変わらないだろうと思っていました。しかし、体験してみると、受験に有る無しに関係なく、生徒の学力を上げるにはこの方法だという感じを受けました。参加した多くの方々もそう感じたのではないでしょうか？授業もさることながら、自塾の取り組みも素晴らしいものがありました。

そして、どうしてもライブの授業が見たく、柳田先生へ連絡して、日米文化学院を訪問しました。20名ほどの生徒が、柳田先生のテンポの良いリードに合わせて学んでいる姿は、お見事でした。生徒さんたちも素直で賢く素敵でした。良い学びをいただきました。早速私も自塾でスタートさせる予定です。

「スポーツ選手（人として）のあり方」「能動的な授業環境」…いずれも、これから生きていく社会で必要なことだと思います。

若い人たちからの学びの多い、今日この頃です。

## 民間教育関係の議員連盟（議連）発足相次ぐ！

報告：事務局 鈴木正之

1.下村博文元文部科学大臣を会長とした「民間教育推進自民党国會議員連盟」が4月11日に発足しました。私塾ネットは全国の学習塾団体から成る全国塾コンソーシアム協議会のメンバーとして、その発足に関わってまいりました。当日も私塾ネットとして9名が出席。民間教育関係の参加者は100名を超えるました。

6月1日には第2回総会が行われ教育関係者63名の出席（内私塾ネットとして出席5名）がありました。下村会長から「経済的な理由に関わらず教育が受けられるように、全ての子にチャンスを与える。」などのお話をありました。議事は民間教育関係者から現状と要望を出していく形で進められています。

今後につきましては、全国塾コンソーシアム協議会が、課題・要望などを精選するにあたり、施策ワーキンググループを開催します。「同議連に要望するにあたり、教育行政に意見を申述でき方、学習塾が国に要望できる内容をお持ちの方はぜひご参加ください。」と言うことですので、私塾ネット会員の先生方も参加可能です。本日までに第3回（7/10）まで終了してお

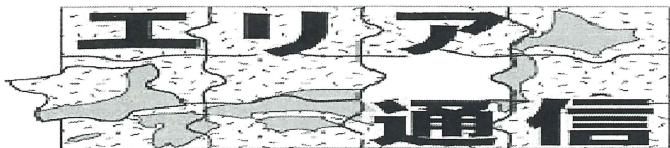


下村博文代議士を中心に自民党議連の先生方が居並ぶ

りますが、その後の開催につきましても同様かと思います。

2.大島九州男先生が中心となり超党派の「民間教育を考える議員連盟」が6/13に発足しました。

※議連関係の会議等開催につきましては、ホームページにも掲載すると共にセンター役員、エリア代表にも案内してまいります。



エリア東北 扇野 昭弘  
(学習塾TRM登龍門・青森県)  
青森市での今年の最終平均倍率は1.08倍と低く、およそ66人しかおちないというものでした。

これは、受験生の人数が減少したこともあります  
が、私立高校の頑張りによる公立高校離れも要因の  
一つと考えられます。

低倍率のため、来年度は青森市での公立高校の定員を160人減らし、青森県全体では345人定員を減らしました。少子化の波を実感するばかりです。

また、学習塾関係に至っては、大手の一斉授業の塾は縮小を始めたものの、大手の個別指導の塾は拡大、新規参入と生徒獲得に厳しさを感じています。

当塾に至っては、もちろん影響はさけることができず、生徒数半減になっています。とはいっても、今いる生徒達には最高の指導とサービスの提供をしたいということで、今年も夏期講習は、中3で180時間を塾で頑張るという目標のもと、力の限り頑張つていこうと決意しました。去年の最高時間は250時間でした。もちろん市内一の高校に進学したのです。その子がいには、「塾で、このような企画がなければ、やろうとも思わなかつた。いい経験ができた。」と言つてくれました。

7月・8月分集中授業に加え、夏講習14日間掛ける4時間の計90時間、オールナイトで宿題をしよう10時間、オールナイトで一斉授業10時間、その他70時間以上を、自習をして塾で過ごすというものです。

地道な時間の積み重ねのできる人になる!!をモットーに、毎年地獄の夏を過ごしています。

こんなことをしているから、生徒が集まらないと、書きながら思うところもありますが、去年下の学年だった子どもたちが「私も中3になつたら頑張りたい!!」と言つていたことを励みに頑張りたいと思っています。

最後になりましたが、来年は春の研修会に是非参加したいと思っていますので、宜しくお願ひ致します。



エリア関東 代表 渡辺 浩

(渡辺塾・東京都)

梅雨入り間近といった5月27日と6月3日の2週連続で、私塾ネット四国研修大会と全国学習塾協会北東支部主催研修会に参加させていただきました。27日の四国は香川県丸亀のホテルオーネラにて行われ、今回は教育開発さんから、教科書改訂と大学入試共通テストの説明と、エリア関東副代表の日米文化学院柳田先生による英語のアクティブラーニングが行われました。特に柳田先生による『アクティブスタディ』(日本教材出版)を使った正にアクティブラーニングによる模擬授業は、普段から行われている授業をそのまま再現され、ただ話を聞くだけでなく、実際に先生方が参加をし、最初に聞いた英文の理解度が、何度も繰り返し演習することで徐々に理解度が増し、最終的にはほぼ理解できるようになっていました。これも教材が優れていることもあるのですが、やはり柳田先生の授業の進め方にポイントがあり、途中の掛け声や笑いなど、これぞ塾の授業であるというものを見せていただきました。講演後も多数の先生方が柳田先生に駆け寄り、授業の工夫や難点など熱心に質問をされていました。

また3日に行われた学習塾協会北東支部主催に研修会は秋田で行われ、国際教養大学副学長の磯貝先生をお招きして国際教養大学(AIU)の特色や優秀な人材の育て方についてお話をありました。お話を伺つての感想は、「本物には魅力がある。そして魅力があるものには人が集まる」ということです。昨今様々な研修会で英語の4技能やICT、IR、AIなどたくさん議論されておりますが、今回はほぼそういった話題には触れず、本物の人材を育成するために大学が取り組んでいることが中心に話されました。その結果、小手先でなく本物には魅力があるんだなど改めて思はされました。講演後に磯貝先生とお話をさせていただき、また別の機会でキャンパスの案内や学生たちとのフリートークなどをやりましょうと約束させていただきました。私塾ネット関東でも是非機会を作つて秋田を再訪したいと思います。

日本列島縦断  
北から南から



**エリア中国 川浜 一也  
(学習共同体川浜塾・広島県)  
広島の公立高校入試で起こったこと  
—教育改革の先行変化—**

現在行われている教育改革。それは、知識や技能を習得するだけではなく、それをもとに「自分で考え、表現し、判断し、実際の社会で役立てる」ことが求められ、そのことによってこれから激変する社会に対応することを目指す。また、スピードを速めていっさきに加速することが予想されるグローバル化に対応する英語教育の改革。シンギュラリティーを経験する子どもたちに対して推し進められるIT教育。そしてそれらを学力として測る高大接続改革。それは、制度改革を含んで2020年にスタートするといわれながら、実は先行変化という形で、すでに変化を始めていることを、全国の塾人は感じていることだろう。なかでも、広島県の公立高校入試問題は、他の都道府県に先駆けて変化を遂げたと言つていいだろう。

2014年、現在の大学2年生が受験をしたとき、国語の出題で、前年まで大問3題の出題が定番化していた傾向を打ち破って、突然4番目の大問が出題され、しかも、その問題が120文字で答える問題だったものだから、関係者を驚かせた。表現する力を問う大問だったのだ。

あくる年には、社会科の地理の問題で、アフリカの2つの国の国勢を表す資料が提示され、そのグラフや表といったかなりの量の資料を読み取って設問に答える問題が出題されたのだ。それはほとんど初見の資料を読みとつてどう判断するかという判断力や思考力を問う大問だった。私たちはこの問題を見た瞬間に、地理はもはや暗記科目ではないと感じとった。我々の指導する教科書は、その時点での生きた知識ではなく、過ぎ去った過去のことを記述せざるを得ない宿命を負っている。こうした中で、初見の資料を読み取って物事を深く思考し、そして判断を下していく能力は、これから変化の多い社会を乗り切っていくのに欠かすことできない力だと言える。これらの問題の変化は、こうしたことに合わせた納得の変化だったと考えていいだろう。

私たちはこの時点で、今までと同じような入試対策では、広島県の公立高校入試には対処できなくなると判断。中学校3年生のシラバスを書き直し、入試対策をそのスケジュールから一変させた。

そして、2016年には全科目にわたる出題傾向の変化があり、2017年もその変化が踏襲された。ちなみに2017年には国語で250文字の長文で答える問題も出題された。もちろんこれは小論文や作文ではない通常の国語も問題だ。今春はあまりに難化する問題を受けて、若干の振り戻しもあった。

これらの変化は、2020年の大学入試で予定されている変化に対する先行変化であると捉えなければ、その変化の理由やその変化の内容も見えてこない。すなわち、2020年からではなく、大学入試の変化を予告することで、高校入試や初等中等教育にまで先行変化を促すことを意図したものと思われる。よって、その先行変化によって、すでに改革はスタートしたと考えていいだろう。

2020年、実際に我々はどのような変化を見るのだろうか、またその影響はどこまで及ぶのか、そのシミュレーションは描き切ったつもりでも、もしかしたら予測もつかない二次的な変化が起こる可能性もある。

一方で、改革のもう一つの柱であるグローバル化への対応として、小学校英語が全国一斉にスタートした今、改革の波はすでに到達していると言わねばなるまい。



**エリア四国 神野 純典  
(神野進学教室・愛媛県)**

**「部活動に対する立ち位置」**

私たちが教室を開いている新居浜市は、愛媛県の東部、東予と呼ばれる地域にあります。別子銅山を起源とする住友の企業城下町で、人口12万3千人ほどの典型的な地方都市です。

新居浜市周辺には、私立中学校、私立高校がありません。ほとんどの生徒は公立中学校から公立高校や新居浜高専に進学します。都会に比べれば、かなりのんびりした進学環境だと思います。したがって、部活動は比較的盛んです。

ただし今年度から、3月にスポーツ庁から出された『運動部部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』に従って、各中学校で、月曜日ないし水曜日を平日の休養日とし、週末は隔週で土曜か日曜のどちらかを休養日としています。この休養日について、ほとんどの保護者は好意的に考えておられるようです。

ところで今は、6月上旬に開催された新居浜市の総体が終わって、7月下旬の愛媛県の総体に向か、各中学校で部活動に熱が入っている時期です。先日、保護者面談をしていて、興味深い事例がありました。

AさんとB君は、同じ中学校の2年生で、同じ部活動に所属しています。その部は昨年度まで比較的緩やかに活動していましたが、今年度から熱心な顧問の先生が就任され、質・量ともにハードになりました。その結果、日曜日に私たちが実施するテスト対策授業と大会の日程が重なってしまいました。

保護者面談中に、テスト対策授業に話が進むとAさんのお母さんは

「先生、その日は、隣町である大会に今年から参加するんよ。部員が少ないからうちの子も出ないとあかんと思う。困ったなあ。テスト対策授業には参加させたいけど、もし遅れたらすみません。」

Aさんのお母さんは困惑気味に話されました。

後日、B君のお母さんと面談がありました。私の方から、「テスト対策授業の日に部活動の大会があるそうですね。」と申し上げると、間髪入れずにB君のお母さんは、「大丈夫です。テスト対策授業に参加させます。よろしくお願ひします。」ときっぱりおっしゃられました。ご家庭の方針として、勉強が優先だからとのことでした。

Aさんのお母さん、B君のお母さんとも子供の教育に関して意識が高い保護者で、塾の活動についても理解のある方々ですが、部活動に対する立ち位置がそれぞれ微妙に異なっています。

さて、私たちの部活動に対する立ち位置はどうあるべきでしょうか。

平成25年に文部科学省から出された『運動部活動での指導のガイドライン』によると、運動部活動

は、学校教育の一環として、スポーツに興味と関心をもつ同好の生徒の自主的、自発的な参加により、顧問の教員をはじめとした関係者の取り組みや指導の下に運動やスポーツを行うものであるとされています。

部活動に対する私たちの立ち位置は、地域性や対象とする生徒などによって、それぞれの塾、教室で異なるのは当然です。ただ、教育の一端を担う私たちは、学校教育の一環として行われる部活動を否定することはできません。教育的要素は有機的に絡まっているからです。この問題について結論を出すのはなかなか難しいのですが、少なくともそれぞれの塾や教室で話し合って意思を確認し合う必要があるテーマだと思います。

## 関西私塾教育連盟「結成55周年記念式典」開催

副会長 鈴木正之

「前回、碇先生と2人でいらっしゃいましたね」と鳥枝義則理事長。確か50周年記念式典でのこと、湯口理事長（当時）と碇先生と私が出席していたと記憶しています。記念式典と懇親会が終わり、碇先生と2人で「どうする」となり、「関私連の2次会に入れてもらおう」となりました。「私と鈴木さんも入れてくれない」と碇先生の人懐っこいお願いを快く聞き入れてくれました。と言うも、旧3団体が1つとなり発足した私塾ネットですが、我々が一緒になれなかつた（ならなかつた）学習塾団体の中で最も関係が深かつたのは関私連だったからです。関私連は全塾連とPTFともに塾団連として合同研修会を毎年行っておりました。私は私塾ネット発足の直前にPTF入会であり、関私連さんとの付き合いは20年程度ですが、碇先生と関私連の関係は深いものがあつたはずです。

今回関私連さんの「創立55周年記念誌」の中に、「1987年塾団連第1回総会・第13回研修大会（鬼怒川温泉）」との記載があります。その後「2000年塾団連14回総会・第26回研修大会（品川プリンスホテル）」で最後になっています。当時の関私連の理事長は漁野先生、塾全協は山口先生、PTFは平林先生です。実行委員長が馬場先生で、私は地元ということで馬場先生のお手伝いをさせていた

だきました。そのおかげで、関私連の先生方と個人的には仲良くなれるきっかけになりました。しかし、それっきり関私連との合同イベントは開催されておりません。

今回の55周年記念講演・記念式典・懇親会にですが、出席者が220名を軽く超えています。我々私塾ネットのイベントでの動員は10周年記念の際の200名が最高ですからそれを超える人数です。参加されている学校さんから「関私連の行事は関西の私塾は当然全校出るものだという意識がある」と聞きました。来賓の方の挨拶や参加されている方からも、関私連が関西において特別な存在であり、多くの方との深い関係があると確信しました。参加者を無理やり集めているのではないのです。

そんな、関私連さんから私塾ネット宛てに届いた今回の招待状は本当に有難い招待状でした。私塾ネットの歴史において関私連は特別な団体であると共に、55年の月日が流れても関私連は関西の教育の中心となっている団体です。関私連の皆様から学ばせていただくことは多くあると思います。石井正純先生（関私連第4代理事長・学習塾協会元会長）、鳥枝先生ともお話をさせていただき、来年度以降に私塾ネットと合同で研修会等のイベント開催を前向きに検討するお話をさせていただきました。藪木章雄先生（私が私塾ネットの理事長時に関私連第11代理事長）から、私塾ネットと関私連の関係担う先生として、谷口昇太郎先生と井野勝利先生をご紹介いただきました。藪木先生の心遣い本当に有難いです。

我々私塾ネットは今後、関私連との関係を深め、互いに高め合い子供たちの未来のために協力していくようにしていきたいです。

最後になりましたが紙面をお借りして、鳥枝先生をはじめ関私連の皆様に改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



参加者200名を超える盛大な祝賀会に關私連さんの底力をみる

## 塾・現場報告その②

### 塾に携わり31年 谷本塾から、ユウリ進学塾へ

谷本 里美(エリア四国・ユウリ進学塾)

香川県高松市の南西に位置し、当時は住宅も人口もさほど多くなく、自然環境に恵まれた自宅敷地内に、「谷本塾」としての一歩を踏み出しました。

空き時間を利用して、親戚や近くに住む子供達を対象に、私が学生時代に培った家庭教師としての経験を基に小さなプレハブで、生徒と向かい合いながら「谷本塾」として地道に指導していました。

その結果、勉強をしない子供が志望校に合格したのをきっかけに「通いたい。」という生徒が少しずつ増え、それならば学ぶ場所として塾舎が必要ではないかと一大決心をし敷地内に現在の塾舎を建設しました。

この建設に合わせ受験に有利な塾となるよう、また幼かった二人の我が子の名を冠して「ユウリ進学塾」と、名付け我が子の子育てと、塾の成長との同時スタートです。母として先生として、「お母さん頑張るよ。」と自分に言い聞かせながら、家庭と塾とのプライベートも無いような環境がスタートしました。

塾舎は鉄筋コンクリート構造の黄色い外観で一際目立ち、また一歩入れば青を基調とした室内、自習室では、頭を上げた時にホッとするよう青空と雲を描き、ホールには、談話が出来る空間に仕上げました。

私は、この新しい塾舎で、「子供が好き」、「教えるのが好き」、「何とか力になりたい」でも、勉強の場だけでなく徐々に人間教育の場でもありたいと思うようになりました。つまり、心の内には先生の部分もありながら、より母親的存在が大きかったような気がします。

今は、開業当初の教え子であった講師と二人三脚で切磋琢磨し、数人の講師の先生に手伝って貰っています。

授業では、小学生無学年、中学生を対象に2教室を習熟度、目的に合わせ5教科指導しています。小学英語では、小3英検5級、小4英検4級、小6英検3級と多くの生徒が合格しています。以降、口コミとなって広がったコミュニティからも100名以上の生徒が通ってくれています。

今では教え子だった子供達が親になり、「共働きで働くかなきやいけない、だから子供の教育を全面的にお願いしたい。」と連れて来てくれます。私は、子守りのばーちゃんかい?(笑)

最近の思い出深い一場面では、母子家庭で母親が体調が悪い事から、



孫が不憫だからと祖母が甘やかせて育てていた結果、指示をしないと自主性のない子供になっていました。そこで、家庭でも指示待ちではなく、効率よく考えて自立出来るよう育てようと、祖母に対しても根気よく助言をしていました。その生徒は、家庭内の境遇を不幸と思い、反抗時期もありましたが、今では立派な好青年になり祖母を手助けしています。この事から、塾は、成績を上げてよい高校へと受験をさせることが使命ですが、学習面と家庭との両面のサポートにより結果的に高校入試や、社会に出てからも自発的な学習意欲が役立つのではないかと思います。

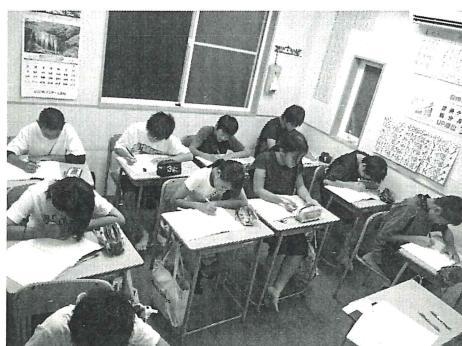
今思えば『教育』とは、実は特殊なサービス業ではないかと感じています。

地域に密着した教育を行う私達だからこそ出来る教育環境を、これからも熱い想いで提供し続けたいと思います。この度、自塾について改めて回想出し、私も随分子供達から学ばせて貰っている事に気付き、心から有難うの気持ちでいっぱいです。子供達の素晴らしい出会い、もしかしたら、塾は私にとって天職だったかも、、、。

これからも、今までの経験を生かしながら、お母さん方の力にもなりたいと思っています。

近況では、H30年夏期講習の準備も始まりいよいよ塾にとっても熱い季節の到来です。近年より、校門配布を行っており、「塾長自ら?」とビックリされました。恥ずかしいと言う気持ちよりも楽しくて仕方ありません。入試に向けての学習がスタートし、生徒が一番成長する時期です。今年も生徒の成長について学習面から考え、熱い夏を共に乗り越えたいと思います。

ユウリが続く限り『子供達の塾でありたい!』



## Welcome to SHIYUKU-NET (新入会塾紹介)



渡辺 勇治先生  
上智スクール柴又教室  
(エリア関東・東京都葛飾区)

葛飾の柴又で、塾を開設したのは昭和58年のことでした。学生の頃から自宅で何人かの生徒を集め教えていたのがきっかけでした。塾を始めた当時は、まだ若く、子どももいませんでしたから、生徒の親はずつと年上で、『子育て』に関しては、ずぶの素人でしたし、今思えば、『先生』としても、素人でした。

ともかくも、毎年、毎年、試行錯誤の連続でしたが、いつしか35年になりました。その間、近隣に新しい塾ができては、二年、三年、しばらくすると潰れてなくなってしまう。塾は淘汰の厳しい世界だということを実感しました。物品販売や、外食産業と違い、塾には商品に形がなく、善し悪しが見えません。生徒の親の評価は厳しく、安易な気持ちでは許してもらえない。気がつくと、長く続く、地元の古い塾の一つになっていました。

そして、生徒たちにとっては、けっこうな年寄り先生になってしまいました。若いころから、家内と私の二人で続けてきた塾で、一代限りのつもりでしたが、今は、三十一歳の息子が塾の中心になっています。やはり、塾は、若いほうが、元気があって、生徒たちには親しみやすいようです。

「高い月謝を取って、ちっとも成績が上がらない。」、と言われたくはありません。「今まで勉強しなかった子が、成績が上がった。」と喜んでもらえれば嬉しい。でも、全員が全員、そううまくはいきません。生徒は十人十色で、苦労なくうまくいく子もいれば、こちらがどんなに頑張っても、思い通りにならない子もいます。（これが塾の悩みどころです。）

今年も、二月の受験期には、この生徒は受かるだろうか、あの生徒は大丈夫だろうか…、と、一家全員で気をもみました。10人中、9人が合格しても、1人でも落ちてしまえば、その子と、その親にとっては、ダメな塾だった、ということになってしまいます。せっかく成績が上がっても、最後に入試に落ちてしまっては元も子もない。そういう生徒が一人でもいると、胸は痛み、しばらく気分が沈んでしまいます。いつまでたっても、試行錯誤は終わらない…と、しみじみ思います。もっと良い知恵がないか、賢明な諸先生方から、お話を伺える機会があることを、ひそかに期待しているところです。どうかよろしくお願ひいたします。



佐々木 肇先生  
若竹総合学園  
(エリア関東・千葉県市原市)

この5月に私塾ネットに入会させていただきました若竹総合学園の佐々木肇と申します。

以前より諸先輩方や仲間が多く在籍しており、みなさんから「私塾ネットいいよ」というお話を聞いていながら中々その機会が持てないでおりましたが、この度無事にお仲間に加えていただくことになりました。

さて、あまり自分のことを話すのは得意ではありませんが、長江先生から直々にご依頼をいただきましたので軽く自己紹介をさせていただきたいと思います。

当塾は千葉県市原市の若宮というだいぶ高齢化が進んだ田舎にあります。中学の教員をしていた父が36年前に自宅改造の形で創業し、13年ほど前から私が塾長として経営をしております。なんと一番近くの小学校が各学年20名、中学校が各学年40名というバリ少子化の地域ですが、送迎車も出しつつ何とか頑張っています。

色々と塾の展開（というか生き残り）も考えていますが、まだ我が家には9歳と3歳のやんちゃ娘たちがおり、毎晩夜まで大騒ぎ。なかなか時間的な余裕がありません。彼女たちがもう少し大きくなったら皆様に助けていただきながらゆっくりと考えたいと思います（それまで何とか維持しないと）。

自宅は千葉市の磯辺という場所にあります。もともとは嫁の実家であり空き家にしてしまうと良くないということで、それこそ塾長になった年に引っ越ししてきました。

立地を生かした趣味が最近出来ました。千葉の仲間たちには有名な『ホンビノス狩り』。ハマグリよりも身が固いですが味は悪くないホンビノスは、外来種でどんなに過酷な環境でも生き残れるらしく、干潮時にちょっと深いところまで行けば、もう無数にあります。私が行くと必ずライバルが10人ほどいるのですが、その誰もが50個ほどの貝を持って帰れるほど大量。嫁には『潮抜きが面倒だから、あまり多く持って帰るな』と言われているのですが、水面を眺めながら足で弄り見つけた時の感動を忘れられず、2週間に1回は通ってしまうという変な趣味を持っています。

また最近は行っていませんが、サウナも大好きです。お姉ちゃんがいるいかがわしいサウナではなく正統派のサウナです。あの毒素が抜ける感じと水風呂で固まる瞬間がたまりません。

どうしようもないことをダラダラとすみません。今後は色々とお世話になることも多くなるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



# エリア四国・春の研修会開催される

時:平成30年5月27日 所:オークラホテル丸亀

報告：エリア四国広報 小野 昭

今回の私塾ネット四国、春の研修会には遠方にもかかわらず関東から、仲野十和田理事長、鈴木正之副理会長・事務局長、関東代表渡邊浩先生、柳田浩靖先生、木谷朝子先生、長江広紀先生、中村直人先生、鈴木学氏、及びご夫妻・職員様計12名の先生方にご参加いただき大変嬉しい限りでした。合わせて61名の皆様のお顔を拝見でき、この上ない研修会となりました。

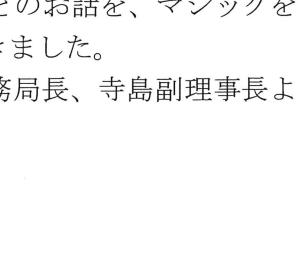
私塾ネット四国、今回のテーマは「2020年に向けた学習塾の対応」及び「どうやる中学英語」です。第1部、教育開発出版株式会社 部長 岡田博司様にお越しいただきまして、2020年に向けて学習塾として、どのような準備をしておくべきかを詳細なデータに基づきより分かりやすくお話をいただきました。

第2部では日米文化学院代表 柳田 浩靖先生より「Active Study」（日本教材出版）の活用事例を具体的にお話しいただきましたとともに、全ては生徒のためにという心意気を感じさせていただきました。第3部では、副理事長・湯口先生の進行で、各塾の近況報告を致しました。

開会のあいさつを、本年度より四国代表に就任されました近藤先生よりいただきました。大変お忙しい中の代表職ありがとうございます。元気に今後とも宜しくお願い申し上げます。

続きまして、仲野理事長よりご挨拶いただきました。大変お忙しい中、遠路よりお越しいただきました。生徒に自信をつけさせてあげること。そうすると、生徒は自分の表現の場を得て自立への道を歩んでくれるとのお話を、マジックを例に具体的にお話しいただきました。

続いて、鈴木副会長・事務局長、寺島副理事長よりご挨拶をいただきました。



第1部（13:50～14:50）

## 「2020年に向けた学習塾の対応…」

教育開発出版株式会社  
部長 岡田 博司 様



1限目「マーケットについて」。通塾率35.7%の小学生市場がねらい目であるとのこと。通塾率アップが課題ではあるが、まだまだ開拓の余地があるとのことです。2限目は「2020年に向けた学習塾の対応」です。地域社会が何を求めているかを感じとり、それに応えていくことが大切であるとのこと。また、学習塾の強みである、長期間のサポートができるところをもっとアピールしてはどうかとのことです。塾における学習内容だけでなく子供の未来像までを保護者と共有ですることができます。基礎学力の定着が必要であることも共有できるとのことです。3限目は「塾への提案」をいただきました。小学校英語での募集拡大と、指導の複線化による多様性への対応と、社会で成功するための能力の育成にチャレンジしてみてはとのことでした。小学生から高校生までの一貫指導で地域に密着できる強みを生かしていくましょうとのことでした。

第2部（15:00～16:30）

## 「どうやる 中学英語」

日米文化学院（エリア関東）  
代表 柳田 浩靖 先生  
「Active Study」（日本教材出版）という教材を使っての模擬授業はワンダフルの一言でした。柳田



先生のテンポ良い喋りと、8段階に分けてリーディングとリスニングを同時に習得していく手法で、楽しく無理なく学習が進みました。

英語が苦手な私も理解度が30%から80%へと大幅



アップを遂げることが出来ました。諸先輩方も、「私が中学生の時に、柳田先生の授業があったらどんなに良かったろうに。」と大絶賛でした。その成果は、合格実績にもしっかりと出ているとのことでした。そして締めに語っていただいた、柳田スピリットに胸を熱くし、目頭が潤んだ先生方も多かったのではないでしょうか。かく言う私もその一人でございます。

### 第3部（16：40～17：20）

#### 「パネルディスカッションあれこれ」

副会長・湯口先生のご進行のもと、ご参加いただいた先生方の近況報告をいただきました。皆様の元気そうなお顔と、声が聞けるのもこの研修会の素晴らしいところの一つですね。



(懇親会) (18:00～20:00)  
12F エメラルドの間

田村先生司会のもと、華やかな懇親会となりました。季節の地魚、鰯（きす）や鰆（さわら）を使った料理や、縁起物「鯛そうめん」というメニューが振る舞われました。また四国のおみやげをゲーム形式で、関東の先生方にお渡しさせていただきました。



上:熱弁をふるう柳田さん 右上:センター仲野会長 左:退会をされても研修会に駆けつけられた熊野さん  
下:左から近藤、仲野、鈴木そして寺嶋氏



## 第13回 全国模擬授業大会 in 足利

田中宏道(エリア関東・LAPIS鎌ヶ谷)

全国模擬授業大会は、「チョーク一本で教育改革を」と、15分間の模擬授業を行います。「先生の力量」の向上、これが教育改革の柱の中心であることを意識した研修の場です。

今年の本戦出場者5名は、  
富山「富山育英センター」の太田昭良先生 中2  
国語「敬語」

学生審査員の「一番受けたい授業大賞」にも選ばれました。

愛知「野田塾」の増本慈哉先生 小6算数「文章題 線分図」と杉本幸延先生 中3英語「接触節」

埼玉「トーゼミ」の寺本冬樹先生 中2理科「化学変化と質量」

そして最優秀賞「野田塾」の牧野裕二先生 中2  
社会「明治維新」です。

今回、団体優勝をした「野田塾」さんの全員の授業力を高めたための日頃の研修には、目を見張るものがあります。「塾は授業が命」この思いをひしひしと感じる全国模擬授業大会です。

審査委員長「野田塾」の小川英範塾長の講評が毎年深く印象に残ります。

今年は「セグメンテーション」です。

授業作りの参考にされてください。

1. 3分で1つのまとまりを作る。・・・集中して聞くには3分が限界
2. 3分の中でテーマは1つだけ。そして結論は1つ。
3. この3分のかたまりを5つ。15分で大きな1まとまりを作る。
4. 15分のかたまりの積み重ねで1つの授業を作る。



学生審査員が本物の投票箱を使って、審査結果を投票

私塾ネット関東のメンバーである開倫塾、開倫研究所の主催する「全国模擬授業大会」。

私塾ネットメンバーの参加塾は、

「開倫塾」、「ING進学教室」「翔英館」「創学舎」「ナカジュク」「日米文化学院」

「誉田進学塾」「洛西進学教室」「LAPIS鎌ヶ谷」です。

趣旨を同じくして毎年10月に行われる名古屋大会には、神奈川の「ステップ」も参加されています。

今年の名古屋は10月28日(日)です。ぜひ研修の場としてご活用ください!



5月27日(日)

於：白鷗大学足利高等学校

なんだ、この酒？

足利駅前にあるんです。うまい酒が…。

この酒だけでも飲みに来ませんか？

(十四代の純米大吟醸だ。まずいわけがない。  
久しぶりにお見かけしました。編集部)



11月に実施されたOKK主催の教育相談会

認められる団体となっていましたが、いい意味で行政を頼らず我々が積極的に活動をして、業績を上げることで大

井町地区、そして品川区を引っ張っていく団体になっていくことが目標です。そのために、今後は説明会だけではなく保護者や小中学生に対して具体的な教育活動をしてまいります。

大井町から教育を考える会(OKK)  
専務理事 鈴木正之

### 大井町から教育を考える会(OKK)春期定例会

地元の教育を地元の塾と学校が良くしようという、大井町から教育を考える会の春期定例会が5月10日(木)に品川区大井町きゅりあん中会議室にて開催されました。

約40名の学習塾と学校(都立1校を含む)と関係者が集まり、昨年度の活動報告決算と今年度の予算と活動計画について確認しました。

今年度の中學高等学校合同説明会は10月28日(土)にきゅりあん7階イベントホールで開催も決まりましたが、各学校が授業や行事のある日であることから、今後の開催日については検討していくことになりました。

一昨年は品川区長が来場、昨年度は品川区と品川区商店連合会から後援をいただき、行政からも

## エリア関東主催 家族で納涼会 in PARCO

6月17日、池袋PARCO屋上にてエリア関東の納涼会が行われました。昨年まで「ファミリーパーティー」という名称で、普段ご迷惑をかけている家族を慰労する会でしたが、趣旨はそのままに、お一人でも参加しやすい形で行いました。

会場は屋外で、雨天の場合は中止。梅雨時とあって、開催が危ぶまれましたが、天気はもちこたえ、予定通り会は行われました。ハワイアンバーベキューで、お肉食べ放題、飲み放題とあって、参加してくれた子どもたちも大喜びでした。

参加者は総勢30人。最後に記念写真を撮りましたが、壮観です。毎年見る子どもたちもだんだん大きくなり、その成長ぶりを見るにつけて、年を重ねたなあと思わずにはいられません(笑)。終了後は、授業で参加できなかった谷村先生と合流して、2次会に突入。テスト前にもかかわらず、参加してくださった先生方、ありがとうございました。

エリア関東では、9月2日に宿泊研修、10月21日には関東研修大会とイベントが続きます。今年も大成功目指して取り組んで参ります。

総務部長 長江広紀(英数学学院・神奈川県)



↑ネット中堅5人衆と  
木谷さん一族に混じる  
独身長江さん  
←いぶき学院御一行様 →新会員渡辺さん  
と仲野理事長  
←渡辺ファミリー  
→ファミリー感の薄い  
村社、鈴木さん

私塾ネット名誉会員にして顧問でいらっしゃる、教育評論家の小宮山博仁先生が新刊を上梓されました。詳細は以下の通りです。会員の皆さんへのプレゼントとして5冊ご提供をいただきました。小宮山先生プレゼント本をご希望の方は以下の要領でお申し込みください。ご希望多数の場合は抽選で5名の方に進呈します。

\*お申込み方法 小宮山先生の本希望と書いて編集部谷村まで、

メール shikot@aim-net.co.jp または

FAX 047-368-2189

### 眠れなくなるほど面白い

#### <図解>数学の定理

発行所：日本文芸社

監修者：小宮山博仁

体裁：A5版 128ページ・2色

定価：734円（本体価格680円+税）

発売日：2018年5月21日

◎本書は、2018年5月21日～7月19日まで

全国ファミリーマートで好評販売中！

他、Amazonなどネットショッピングからご注文いただけます。日本文芸社ホームページまで。

今、数学が注目されています！2000年から始まったOECDのPISA（ピザ）では、数学的リテラシー、科学的リテラシー、読解力の調査からスタートしました。この影響を受けて2020年から新学習指導要領が大幅に変わり、日本の大学入試制度も変化していくことになっています。物事を順序立てて考える論理的思考能力が、AIが発達していくICT時代にはさらに注目されるに違いありません。また、論理的な数学的発想が身につくと、社会に出て生活をしてく上でも、大変役

立つことがわかつてきました。特に図形の証明問題は、定理や定義にもとづいて、論理的に矛盾のない展開によって、証明することができます。

中学や高校で学ぶ図形はギリシャの時代に幾何学と呼ばれ発達しました。土地の測量は日常生活に欠かせなかったからだと思われます。現代では日常生活で数学を応用するというだけでなく、数学的な物の見方や考え方方が注目されています。

「定理」とは「正しいことが証明されたもの」で、それをを利用して未知のことをまた証明していくことになります。論理的思考法を身につけるための練習に、「図形の定理の証明」はうってつけです。

混迷した社会を生き抜く能力の1つが、論理的思考法を利用した、問題解決能力と言ってもよいかもしれません。身近な事象や難題に直面した時に、それらを読み解く能力と考えられます。学校で習ったやさしい有名な定理から、高校で習うちょっと難しい定理まで、知って役立つ定理を図解でわかりやすく紹介している本です。



## 千葉学習塾協同組合主催 第10回授業力アップ研修会に参加して

報告：谷村志厚（会長・編集長）

千葉学習塾協同組合（JAC）は加盟塾110塾を擁する全国最大規模の学習塾協同組合です。今から20年に当組合の代表を務めていた身としては、創立以来30年にわたって連綿と続くJACの足跡を誇りとするところです。JACは4年ごとに理事長が交替する、まことに透明性が高く新陳代謝の活発な組織です。ですから20年前の役員などほとんど浦島太郎です。授業力アップ研修会も30代の先生方が中心に実行されている研修企画で、私は初めての参加でした。10回目の研修会ですので、自分たちが現役役員の時代にはなかった企画になります。

当研修会の趣旨は、塾の生命線は授業力であるとの観点から、中堅若手講師の授業スキルとモチベーションのアップを図ろうとするものです。以下の研修会プログラムにその意図が反映されています。

時間帯	研修分類	テーマ
午前の部 (10:00～ 12:30)	模擬授業	一斉授業の部
		個別指導の部
		一斉ルーキーの部A
		一斉ルーキーの部B
午後の部 (13:30～ 16:30)	分科会1	理科
		社会
		初任者研修
	分科会2	英語
		数学
		国語

午前の部2時間30分は模擬授業で、上記の通り4部門に分け行われました。昼食をはさんで午後の3時間は分科会形式の研修会。組合員塾の先生がリーダーとなって6つのジャンルでの濃密な研修となっていました。

今回私が参加するきっかけになったのは、模擬授業の審査員を依頼されたことでした。したがって当レポートでは、模擬授業のそれも担当しました一斉ルーキーの部の様子を報告します。

模擬授業のルーキーの部はその名の通り、講師歴2年未満の方を対象とした部門です。この部門はコンペではありませんので優勝者を決めるものではありません。単身で授業が受け持てる力量があるのか否かを審査し、組合として講師資格認定を行うものです。一斉ルーキー部門ではABの2教室に、計14名の講師の方がエントリーをされていました。専任が2名、時間講師が12名で全員が指導歴1年未満の、まさにフレッシュなルーキーの皆さんでした。紙幅の都合上私がかかわったA教室7名について紹介をします。

7名のプロフィールは右表の通りです。この教室は文系の教科を集めましたが、学年は小4から



参加25塾、73名の参加者を前に開会の挨拶をする西出理事長

授業者	所属	学科	学年	指導範囲
I(女)	SA塾	国語	小4	漢字の書き順となり立ち
K(男)	N塾	社会	中2	瀬戸内海
K(男)	T塾	英語	中1	助動詞can
N(女)	SK塾	英語	中2	動名詞
S(女)	SA塾	国語	高1	古典推量の助動詞
S(女)	N塾	英語	中3	不定詞
M(男)	R塾	社会	中1	大化の改新

高1までとバラエティに富んでいました。教室には20名程度の聴衆（生徒役・授業者7名含む）と3名の審査員が入りました。授業者の模擬授業の持ち時間は15分、当然のことながら皆さん緊張の面持ちで出番を待っていました。だが、授業が始まると落ち着きを見せ、しっかりと練習しこの日に臨んだことがうかがえる出来栄えでした。

審査は①白板への立ち位置（4点）、②声の適切さ（4点）、③板書の適切さ（8点）、④話し方（6点）、⑤表情や動作（10点）、⑥授業の進行（18点）の6つの大項目を25の小項目に分け、とても良い2点、良い1点、出来てない0点で審査し合計点が $25 \times 2 = 50$ 点満点で集計します。

ルーキー部門はコンペではありませんので、こちらもゆるやかな優しい視点で採点に臨みました。模擬授業挑戦の目標はJAC認定公認資格である50点満点で30点を超えることです。それに向けての準備と努力が、ルーキーの皆さんに求められること。そして彼らのモチベーションを高め成果を評価してあげるのが、所属する塾の役割になります。

塾講師として働き始めて数ヵ月しかキャリアのない皆さんの挑戦でしたが、まことにさわやかな印象を残してくれました。彼らがこれからそれぞれの塾の現場で切磋琢磨し、所属する塾をおおいに盛り上げる活躍を期待します。

中小塾氷河期の今、ぶ厚い氷河を溶かしてくれるのは彼ら若手講師の皆さんの授業スキルと、それを育成しようとする塾経営者の意志と熱意にかかっているのではないでしょうか。



## あいがたや「火金メール」

昨年9月にある塾さんに教えていただき、「火金メール」を親御さまに送っています。披露していいものか迷いましたがご紹介させていただきます。(○○先生、ありがとうございます!!) 続けるのはちょっとたいへんな面はあります

6月19日(火)

LAPIS鎌ヶ谷 代表田中彦左衛門です(^-^)/。このメールは全員に送信しています。

先週の金曜日はメールを送れずにすみませんでした。「県民の日スペシャル 小5、小6算数特訓お楽しみ付きバージョン」で朝から中学生の授業直前まで追われていたもので、ついうっかり忘れてしまいました。来てくれた子たちは「1日算数なんてとんでもない!」って思っていたようですが、来てみたら「夢中になって解いたから時間が早かった。」「みんなでお昼ご飯を食べたり、ゲームもしたりして意外に楽しかった」と嬉しい感想を書いてくれました。今後のLAPIS通信でも感想を披露しますね。

期末テスト直前です。土曜、日曜の自習室。中1、中2の生徒たちは早い時間から夜の最後までよく頑張ってくれました。うまく結果が出てくれますように! 中3生は、あと1週間余裕のあるニ中生が自習室にたくさんやってきて、テスト直前のはずの鎌中、四中生が少なく危機感を抱いています。3組の指名者、4組全員対象に2時から9時まで補習があったのですが欠席も多く。。。月曜日に土日の勉強時間を聞いても、勉強時間を確保しておらず、とっても心配。。。受験の内申がかかっている期末テスト。「おーい!だいじょうぶかあ~?」この2~3日だけでも根を詰めてトレーニングできますように! 塾のない日は1日(3~)4時間です。できないのであれば自習室が開いています!

さて、本日の連絡です。

<期末テスト対策>

学校ワークを

中1は8回以上、中2、中3は4回以上繰り返しましょう。

中2、中3 授業時間10分ずつ延びて10:10授業終了です。6月21日(木)まで。

<中1 学校別補習>

<鎌中・三中・四中>

20日(水)7:10~9:50前日特訓(本館)

21日(木)~9:50前日特訓(自習館)

<二中>

23日(土)3:00~9:50社会(本館)

<中2、中3> 省略

\*何かご質問などありましたら、047-443-1010までお願いいたします。

\*このメールに返信くださっても大丈夫ですが、ご返答に数日がかかる場合がございます。ご承知おきください。

\*LAPISホームページhttp://lapis-sonrisa.com/から「ひこざえもんのFacebook」もぜひご覧ください。

LAPIS鎌ヶ谷 田中彦左衛門(宏道)

が。。。 「今まで子どもが手紙を渡さないから何もわからなくて。。。このメールありがたいです。」と親御さまから喜びのお言葉をたくさんいただいています。3日分抜粋してみました。何かのご参考になると幸いです。

6月29日(金)

LAPIS鎌ヶ谷 代表田中彦左衛門です(^-^)/。このメールは全員に送信しています。

鎌中3年生、国語の平均点は40~45点。理科も含めて難しかったようですねえ。鎌中2年、二中3年、四中1年の国語。鎌中、三中1年の理科も。。。順位は上がっていますように!

80点取らせられなかった科目、申し訳ないです。7月2日(月)~7日(土)自習室でテストフォローを行います。中1は数英理社で80点未満、中2は英数で80点未満、中3は数英理社で80点未満の人が期末テストフォローに特別招待を受けています。

以下に日程が出ていますので、待っています!

さて、本日の連絡です。

<中1・中2・中3期末テストフォロー>

7月2日(月)~7月7日(土)午後7:10~9:50

場所:自習館

持ち物:その教科の塾の教材(テスト問題と自分の答案。フォレスタや中3はウィニング、マイクリア)

7月3日(火)

LAPIS鎌ヶ谷 代表田中彦左衛門です(^-^)/。このメールは全員に送信しています。

7月1日(日)清水公園。18年前の初代スタッフから現在のスタッフまで、集まってくれた35名での大BBQ大会。日頃、子どもたちを喜ばせ、能力を伸ばそうと一生懸命やつてくれるスタッフに感謝を込めての大イベントでした。お肉やお魚を焼くだけではなく、万願寺唐辛子と鶏肉のぽん酢煮。切り干し大根の煮物。アヒージョ。大根の千枚漬け。なすのピリ辛漬けなども作ってもてなしました。スタッフたちのたくさんの笑顔に会えてとっても幸せな1日でした。

さて、本日の連絡です。

<中1・中2・中3期末テストフォロー>

7月2日(月)~7月7日(土)午後7:10~9:50

場所:自習館

杓子定規に80点と限定せずに、頑張った甲斐あって点数を伸ばしている科目、あまりに平均点が低い科目は70点台などでも「フォローに来なくていいよ」と本人に伝えました。ご承知おきください。

## 私塾ねつと誌上句会 第三十二回

陽に白き道を横切る蜥蜴かな

童持つザリガニ手足宙をかき

夏の動物季語二句。ザリガニ釣りは我々世代のように語られるが、ザリガニ釣りは我々世代の男子には共通経験がない。瀬戸内の海育ちながら、川や沼での遊び体験が乏しいせいであろう。掲句のうでさりガニは「手足で宙をかき」とある。その様はエイリアンのよ

とりあえずビールと枝豆注文す

といふかくつゆけき花をあじさいという（神奈川県）

「とりあえず」の句、正しい日本の酒と食の文化の姿。昨今の若者には通じぬ、うなづく。「つゆけき」とは「露にぬれてしまつ」との意の古語だが、「あい（藍・愛）ふかく」と修辞の上五がくと語感がとたんに艶めいてくる。

熊蟬のせわしげな声朝を断つ

木内恭裕  
(神奈川県)

「ひまわりや目のない顔のこちら向く（徳島県）」  
ひまわりに目がない？なるほど面白い気づきですね。いま0年以前に南野陽子「愛称ナンノ」という人気アイドルがいました。本の立派な向日葵がいたから。女が売れていた当時、裏の空き地に毎夏1人氣アーティストが咲いていた。「南野陽子」といふ唉声がほど、ひまわりに似合つたネーミングはないとも思う。

六部堂香煙ありて夏の空

十亀幸雄  
(愛媛県)

「山一六部堂」とは？四国山地の愛媛県側、東温アルプスとは、いつけ頃峰の名登

五月雨とともに下るや屋形船

谷村志厚  
(千葉県)

「廃校の雑草深し遠き夏」とかの中学校には全校で30人もの生徒がいた。校庭であふれていた校庭も、校舎もはや遠き夏。

編集部からお願ひ次号は11月中旬発行の秋号です。投句はお一人3句まで秋季語でお願いします。投稿はメールshikot@ainet.co.jpまたはFAX047-368-2189 谷村まで締切は10月30日です、ふるつてご投稿ください。

中村直人  
(神奈川県)

長江勝秋

### 閑話休題

編集長 谷村志厚

■西日本豪雨災害は未曾有の惨状となった。私の出身地は愛媛県の大洲市、今回の災害報道の中でも何度か映像が流れた。市の真ん中を一級河川肱川が流れる。川を挟んで旧市街地と新興の商業・住宅地が広がっている。今回の肱川決壊による浸水被害は、主に後者の地域である◆二人の姪がこの災害にかかりわっている。一人の姪は大洲市役所に勤めており、土曜日の緊急出動以降3日間帰宅がままならなくなったようだ。一方の姪は浸水地区に居住しているが、被害は床下浸水でおさまったようだ。だが、土曜日以降断水中のため不便をしているとのこと◆さて、こんな大きな災害があるたびに、私たちのお仲間の塾はいかがかと気になる。ことに今回は会員の多い中国・四国のエリアだから、よりいっそうである。被害の状況がより鮮明になった9日、エリア関東の仲間にラインで次のように発信した。「西日本豪雨水害、ネット会員でお見舞いすべき方がいないか調べてください」。すると数分後仲野さんから「昨日、若竹の佐藤先生、近藤先生、湯口先生へ連絡を取ったところ、被害に遭われた方はいないだろうとのことでした。もしいらっしゃいましたら、連絡をいただけることになっています」。同時に鈴木さんからもメール「今朝、近藤先生に電話しました。四国会員の被害報告は入っていないそうです。明日、中国の先生にも確認してみます」。さらに渡辺さんから「広島の城先生や林先生もご自分のf bで無事を報告されています。」との返信が入る。そこで「愛媛県大洲市は浸水被害にあってます、愛真の佐々木さんのところ被害がないかチェック願います。」と発信した。すると瞬時に柳田さんから「佐々木先生の周囲で人命にはかかわっていないようです。大洲の校舎では15cmの浸水があったようですが、今日から授業はされています。後略」。とまあこんな具合に立て続

けに返信が続いた◆最初の発信から4本目の柳田さんのメールが着信するまでわずか20分の早業。情報社会、SNS全盛の時代とはいえ、この瞬時の反応にアナログ世代の落武者としては、いささか驚かされた。と同時に被災地のお仲間に心を配る彼らの優しい視点に、ほのぼのとした思いを味わったのである。彼らが舵を取る私塾ネットの未来は、おおいに期待できるなど安どの息をついた。

■エリア通信で四国の神野さんが「部活動に対する立ち位置」なる投稿をされている。そこで部活動に関して少しふれることにする。中学校における部活動の扱いには、かなり地域差があると思う。首都圏でも当地千葉県とお隣の東京都ではかなりの違いがある。千葉からみると東京都立の学校は、かなりゆるやかな部活動のように思える◆千葉県教育委員会では6月、「安全で充実した運動部部活動のためのガイドライン」を公表した。第3章4節で「適切な休養日の設定」として以下の通り示している。●適切な活動時間—長くとも、平日の練習時間は2時間程度とし、土曜日及び日曜日を含む学校の休業日は3時間程度とする。これを超えて活動する場合であっても、その前後の活動時間を短縮すること等により、過度にならないよう留意する。●休養日の設定—学期中は、平日に1日以上、週末に1日以上の、少なくとも週当たり2日以上の休養日を設けることを基準とする。週末に大会等に参加した場合は、他の日に休養日を振り替える。長期休業中は、学期中の休養日の設定に準じた扱いとするが、生徒が十分な休養を取ることができるよう、まとまった休養期間を設ける◆とまあ、文科省のガイドライン骨子に準じたものになっている。さてはたしてその実行は如何に。運用は学校現場に任せられていることであり、罰則もないでの、ガイドラインの順守はいさか心もとない。

# 私塾ネットセンター 事務局通信



事務局長 鈴木正之(いぶき学院)

東京都目黒区で今年3月、当時5歳の女の子が虐待された末に死亡した事件。

この家族は今年1月に香川県から東京都に転居したため、香川と東京の2つの児童相談所が関わっていました。「児童相談所に問題はなかったかを検証すべきだ」、「児童相談所の人員を増やすべきだ」、「なぜ社会の側が女児を救えなかったのかそれが問題だ」、「体制強化を本格的に検討するべきだ」、「早期発見と早期対応が大切だ」など、様々な意見が飛び交っています。それぞれの意見は正しい意見であり、虐待を早期に発見してどのように対応していくか、そしてそのための児童相談所の体制（人員やしくみ）の改善は絶対に必要だと思います。

しかし、それで根本的な解決になるとは私には思えません。虐待を早期発見するのではなく、虐待の根絶（減らすこと）が唯一の解決法と考えます。それを実現できるのは“教育”しかありません。虐待をする様な親（人間）にならないような教育を社会ができなかつた。それが原因であると思うからです。

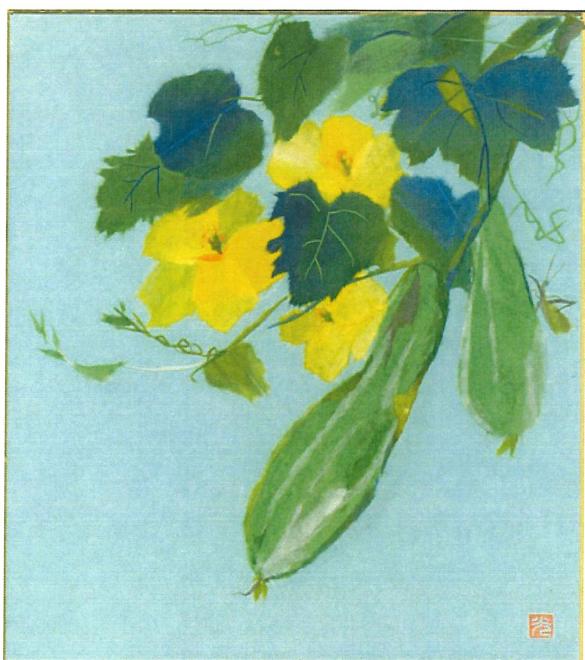
犯罪や汚職、公文書書き換え、監督コーチのスポーツ選手への不適切な指示、本来は個人を守るために組織が個人を犠牲にする世の中、それを起きてないようにできるのが“教育”であると思います。

され庵 たあつる。「げい 旧糸瓜間 が0  
されたをとて街。子なる台暦瓜をに「糸瓜 2俳句  
た花訪と伝り江と規がこの9月  
ころえの戸となR庵」。東区9月19日、正岡子規のことに思  
糸ねる。大期に鶯谷とこの場所に子規は肺結核で亡くなつた。  
と瓜子でられ店にており、かさこの三句は「糸瓜己」として  
はか規ちぎり絵に句を詠んでいた。正岡子規は肺結核で亡くなつた。  
想像に難く、昨年に句を添えられた直人さん、彼も  
亡くない。母さまの新盆（谷村）を着描子想か規

何か事件が起きると指導者や管理責任者の研修会を行うこと、大相撲でも不祥事の際には力士を集めて理事長の話をするなどは賛成です。くすぶっている問題が実際に起こさないこと、起きた時にどのように対応するかということは重要だからです。しかし“教育”によって、その芽をつぶすことができれば、初めからくすぐる問題そのものがなくなります。

子供達は親から多大な影響を受けます。もちろん教育機関である学校や学習塾、社会からも影響を受けます。だからこそ、我々大人が一丸となり子供の教育に向き合うことが必要ではないでしょうか。ここでいう教育とは勉強ができることや有名校に合格するための教育ではなく、未来を担う子供たちが互いを尊重する人間になる教育です。自分を持ち、自己開示をし、互いに価値観を受け入れ、感謝の気持ちを持ち、他人との協調により喜びの共有ができる人間を育むことができたなら、世の中の問題がかなり解決するのではないか、言い換えれば問題そのものが起きなくなるのではないかと思います。

子供たちや親御さんに直に接する我々学習塾は、社会へ大きな影響を及ぼす機関となっています。誇りと大きな遺り甲斐を持ち、まだ見ぬ未来のために日々子供たちと向き合っていくのが学習塾ではないでしょうか。



新盆に母のかげみん花糸瓜（直人）

ちぎり絵歳時記⑩（花糸瓜）作画・中村光江

## 賛助会員一覧(順不同)

<b>関東国際高等学校</b>	村山サンドー先生 TEL03-3376-2244
東京都渋谷区本町3-2-2	
<b>江戸川学園取手中学高等学校</b>	竹澤 賢司先生 TEL0297-74-8771
茨城県取手市西1-37-1	
<b>東洋高等学校</b>	石井 和彦先生 TEL03-3291-3824
東京都千代田区三崎町1-4-16	
<b>桜丘中学高等学校</b>	高橋 知仁先生 TEL03-3910-6161
東京都北区滝野川1-51-12	
<b>聖徳大学附属女子中学高等学校</b>	川並 芳純先生 TEL047-392-8111
千葉県松戸市秋山600	
<b>麹町学園女子中高等学校</b>	大野 博人先生 TEL03-3263-3014
東京都千代田区麹町3-8	
<b>春日部共栄中学高等学校</b>	宇野 穎弘先生 TEL048-737-7611
埼玉県春日部市上大増新田213	
<b>東京立正中学高等学校</b>	安原 正樹先生 TEL03-3312-1111
東京都杉並区堀ノ内2-41-15	
<b>八雲学園中学高等学校</b>	横山 孝治先生 TEL03-3717-1196
東京都目黒区八雲 2-14-1	
<b>関東第一高等学校</b>	副田 康孝先生 TEL03-3653-1541
東京都江戸川区松島2-10-11	
<b>武蔵野中学高等学校</b>	後藤 伸一先生 TEL03-3910-0151
東京都北区西ヶ原4-56-20	
<b>和洋国府台女子中学高等学校</b>	和田 伸平先生 TEL047-371-1120
千葉県市川市国府台2-3-1	
<b>新渡戸文化中学高等学校</b>	藤井三恵子先生 TEL03-3381-0196
東京都中野区本町6-38-1	
<b>東洋大学付属京北学園</b>	杉原 米和先生 TEL03-5948-9113
東京都北区赤羽台1-7-12	
<b>大森学園高等学校</b>	増田 宇先生 TEL03-3762-7336
東京都大田区大森西3-2-12	
<b>東京成徳大学中学高等学校</b>	野中 修也先生 TEL03-3911-2786
東京都北区豊島8-26-9	
<b>日本工業大学駒場中学高等学校</b>	河村 文夫先生 TEL03-3467-2130
東京都目黒区駒場1-35-32	
<b>青稜中学高等学校</b>	伊東 充先生 TEL03-3782-1502
東京都品川区二葉1-6-6	
<b>東京女子学園</b>	実吉 幹夫先生 TEL03-3451-6523
東京都港区芝4-1-30	
<b>駒込中学高等学校</b>	河合 孝允先生 TEL03-3828-4141
東京都文京区千駄木5-6-25	
<b>愛国中学高等学校</b>	高橋 英夫先生 TEL03-3658-4111
東京都江戸川区西小岩5-7-1	
<b>安田学園中学高等学校</b>	磯 正樹先生 TEL03-3624-2666
東京都墨田区横綱2-2-25	
<b>日本音楽高等学校</b>	伊庭 崇先生 TEL03-3786-1711
東京都品川区豊町2-16-12	
<b>立正大学付属立正中高等学校</b>	今田 正利先生 TEL03-6303-7683
東京都大田区西馬込1-5-1	
<b>上野学園中学高等学校</b>	高橋公美子先生 TEL03-3842-1021
東京都台東区東上野4-24-12	

<b>二松学舎大学付属高等学校</b>	車田 忠繼先生 TEL03-3261-9288
東京都千代田区九段南2-1-32	
<b>村田女子高等学校</b>	二渡 道雄先生 TEL03-5940-4455
東京都文京区本駒込2-29-1	
<b>自由学園(中等部・高等部)</b>	更科 幸一先生 TEL042-422-3111
東京都東久留米市学園町1-8-15	
<b>帝京中学高等学校</b>	上瀧 栄治先生 TEL03-3963-7734
東京都板橋区稻荷台27-1	
<b>京華学園</b>	今野 巍先生 TEL03-3941-6493
東京都文京区白山5-6-6	
<b>武蔵野大学千代田高等学院</b>	渡部 隆巳先生 TEL03-3263-6551
東京都千代田区四番町11	
<b>目黒日大中学高等学校</b>	天野 正貴先生 TEL03-3492-3388
東京都目黒区目黒1-6-15	
<b>共栄学園中学高等学校</b>	松宮 博先生 TEL03-3601-7136
東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	
<b>中村中学校・高等学校</b>	富田 義道先生 TEL03-3642-8041
東京都江東区清澄2-3-15	
<b>東京女子学院中学高等学校</b>	宗内 信二先生 TEL03-5903-9559
東京都練馬区関町北4-16-11	
<b>文教大付属中学高等学校</b>	神戸 航先生 TEL03-3783-5511
東京都品川区旗の台3-2-17	
<b>国際高等専門学校</b>	松尾 多郎先生 TEL076-248-1080
石川県金沢市久安2-270	
<b>株創開コミュニケーション</b>	小林 和光様 TEL04-7164-6511
千葉県柏市柏2-7-22-202	
<b>株私塾界</b>	山田未知之様 TEL03-3987-0838
豊島区東池袋1-39-1三善ビル	
<b>株S R J</b>	板橋 玲様 TEL03-6865-6380
中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル9F	
<b>デザインオフィスズキ</b>	鈴木 学様 TEL04-7164-8276
千葉県柏市柏687-6	
<b>株エデュケーションネットワーク</b>	斉藤 高志様 TEL03-5275-2101
千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F	
<b>小池教育研究所</b>	小池 仁様 TEL090-1451-9757
愛媛県今治市大西町別府2380-1	
<b>株POPER</b>	栗原 慎吾様 TEL03-6265-0951
千代田区東神田2-1-8秋葉原クロスサブ	
<b>L T S株式会社</b>	堺 健司様 TEL090-2400-9515
千葉県柏市花野井1925-31	
<b>株トーエイ 柏営業所</b>	柿内 智之様 TEL04-7190-5890
千葉県柏市若柴297-12	
<b>株塾と教育社</b>	加藤麻由美様 TEL03-6265-6855
東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	
<b>株式会社 ブックモールジャパン</b>	攬上 聰様 TEL048-447-7457
埼玉県戸田市上戸田4-2-33	
<b>教育開発出版株式会社</b>	糸井 幸男様 TEL03-3304-5321
東京都杉並区下高井戸1-39-12	
<b>株式会社ナイス</b>	谷村 紀嗣様 TEL03-3304-5321
横浜市都筑区中川1-20-1 サファーレ中川	
<b>(株)クロノクリエイト</b>	添田 大亮様 TEL03-5468-6986
渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル	
<b>(株)声の教育社</b>	小泉 邦人様 TEL03-5261-5061
新宿区新小川町8-15	
<b>エスディーエムコンサルティング(株)</b>	坂尻 俊樹様 TEL03-3484-1212
調布市入間町1-31-23	